授業科目　スポーツ社会学

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	ｽﾎﾟ
西原康行	開講時期	後期	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：ＧＩＯ>】

スポーツと社会との関わりについて、歴史的、社会的な側面から学習し、現代社会における社会認識とスポーツ事象の認識を見通すことができる。

【<学習目標>又は<行動目標：ＳＢＯ>】

1. 講義の目的、内容、評価について理解する。
2. スポーツにおける歴史的発達について理解する。
3. スポーツにおける今日的環境について理解する。
4. スポーツ文化について理解する。
5. スポーツと社会との具体的な関係について理解する。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
	1. ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ	1	講義
	2. スポーツとは（スポーツの歴史的発達）	2	講義
	3. スポーツとは（現代スポーツの考え方、スポーツを取り巻く環境）	3	講義
	4. 文化としてのスポーツ（スポーツの文化性、文化的内容）	4	講義
	5. 文化としてのスポーツ（スポーツ観、スポーツ規範、ボランティア）	4	講義
	6. 社会の中のスポーツ１	5	講義
	7. 社会の中のスポーツ２	5	講義
	8. 我が国のスポーツ振興施策（世界のスポーツ事情と日本のスポーツ振興施策）１	5	講義
	9. 我が国のスポーツ振興施策（世界のスポーツ事情と日本のスポーツ振興施策）２	5	講義
	10. スポーツと人権（虐待）	5	講義
	11. スポーツと人権（セクシュアルハラスメント）	5	講義
	12. スポーツと経済（プロスポーツ、メディアなど）	5	講義
	13. スポーツと教育	5	講義　演習
	14. スポーツと政治	5	講義　演習
	15. まとめ		講義　演習

【使用図書】	<書名>　<著者名>　<発行所>　<発行年･価格･その他>
教科書（必ず購入する書籍）	スポーツ社会学講義（森川貞夫・佐伯聰夫編著　大修館書店） 公認スポーツ指導者養成テキスト　共通科目Ⅰ・共通科目Ⅱ・共通科目Ⅲ　（各ワークブック含）
参考書	
その他の資料	

【評価方法】	【履修上の留意点】
授業参加１５％、レポート３５％、試験５０％	

健康スポーツ学科　専門